駒澤大学　教養教育科目「経済学の基礎」

第0回
ガイダンス

神奈川大学経済学部助教　道満 治彦
E-mail: h-dohman@kanagawa-u.ac.jp

ガイダンス

教員の自己紹介

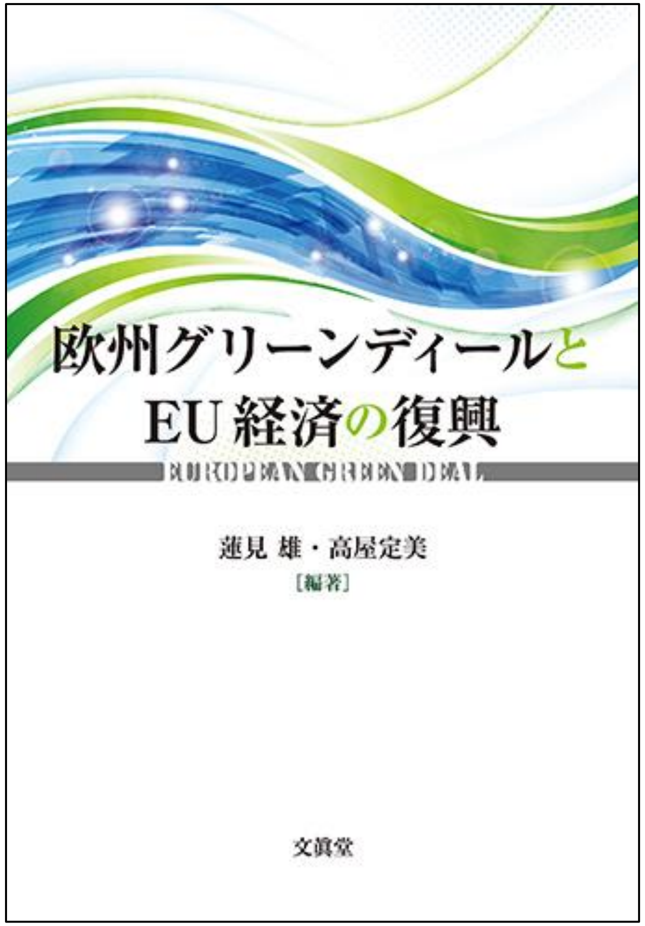
道満 治彦(どうまん はるひこ)

本務校:神奈川大学経済学部助教
出身:岡山県岡山市
専門:ヨーロッパ経済論、環境政策論、比較政治経済学
研究対象:EU・日本・北米の環境エネルギー政策、環境政策と企業
趣味:週末のサッカー観戦、旅行

立教大学経済学部出身。上京後は岡山県学生寮に在籍。大学院時代は、大学で研究しながら、環境NGOや国会議員の超党派議員連盟の支援もしていました。
この駒澤大学での授業は今年度が初めてです。

最近の研究

書籍名	欧州グリーンディールとEU経済の復興
編著者名	蓮見雄・高屋定美
発売日	2023年4月7日
出版社	文眞堂
定価	2,860円(税込)



第8章「グリーンディールの前提としての再エネ政策―優先規定の変遷から見る日本への示唆―」を担当

本科目の概要

- 様々な経済現象を読み解く際の、「経済とは何か」「経済学とは何か」の基礎的な見方を身に付けることが本科目の目的である。
- 本科目は、①経済学の基礎、②経済政策とその関連分野、③国際経済の３本柱で構成されている。
- これらを通じて日本経済および世界経済の動向を自分の力で理解し、分析する視点を身につける。
- 本科目は**講義科目**として実施する。

本科目の到達目標(ねらい)

1. 現実に起こる経済現象を見る基礎的な視点を身に付けること。
2. 経済学的な考え方や、経済政策の動向、日本経済・世界経済の情勢を理解し、自分の言葉で説明できること。
3. 企業の経済活動の在り方を理解すること。

成績評価の方法

- 期末試験：80％
- 平常点（リアクションペーパー、小テスト等）：20％

履修上の留意点等

- 本科目は原則として**「対面授業」**で実施する。**私語厳禁**。
- ・オンライン授業の実施が必要な場合は、①YouTubeにアップするオンデマンド方式もしくは②Google Meetを用いたリアルタイム配信のいずれかで実施する。オンライン授業を実施する場合はLMSを通じて案内する。
- 資料は前日までにLMSにアップロードするので、印刷もしくはダウンロードして下さい。
- 質問に関しては、授業終了後に対面もしくはLMSを通じて受け付ける。
- 実際の政治・経済の状況や企業の動向によって授業内容の一部を差し替えることがある。

教科書・参考書

教科書

- 指定しない

参考書

- ジョセフ・E・スティグリッツ／カール・E・ウォルシュ（2012）『スティグリッツ入門経済学［第4版］』、東洋経済新報社、2012年、3080円
- 浅子和美／飯塚信夫／篠原総一（2020）『入門・日本経済［第6版］』、有斐閣、年、3850円
- 妹尾裕彦／田中綾一／田島陽一（2022）『地球経済入門－人新世時代の世界をとらえる』、、法律文化社、2640円

講義計画

	授業の計画・内容
第1回	イントロダクション
第2回	需要と供給－価格はどうやって決まるのか？
第3回	市場の失敗－市場の失敗とは何か？
第4回	GDP－国の経済規模をどうやって測るのか？
第5回	財政－国の財政の歳入と歳出はどうなっているのか？
第6回	金融－中央銀行の役割とは何か？
第7回	環境経済－なぜ経済活動は地球温暖化を悪化させるのか？
第8回	地域経済－地域経済が抱える課題は何か？（課題授業）

	授業の計画・内容
第9回	企業と社会－企業の社会的責任（CSR）とは何か？
第10回	国際貿易－世界の貿易構造はどうなっているのか？
第11回	日本経済－「失われた30年」はなぜ起こったのか？
第12回	アメリカ経済－米ドルはなぜ基軸通貨になったのか？
第13回	EU経済－EUはなぜ統一通貨を使うことになったのか？
第14回	中国経済－米中貿易戦争はなぜ起こったのか？
第15回	半期のまとめ

授業中のマナーについて

- 授業中は、**私語厳禁**です。授業運営に支障を来すのはもちろんのこと、新型コロナウイルス感染防止の観点から、私語は好ましくありません。
- マスクは、政府の方針（および大学の方針）により個人の判断に委ねられております。しかしながら、私個人の意見として、感染防止対策は各自でとることをおすすめします。仮に授業をきっかけに感染したとしても、一切の責任は取れません。また、室内で会話をする際はマスクの着用が推奨されています。
- **授業担当者と直接話すときには、必ずマスクの着用をお願いします**。（呼吸器・循環器系の重度の基礎疾患を持つ同居家族がいるための措置になります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。）

駒澤大学　教養教育科目「経済学の基礎」

第1回
イントロダクション

神奈川大学経済学部助教　道満 治彦
E-mail: h-dohman@kanagawa-u.ac.jp

＜本日のポイント＞
経済とは何か？経済学とは何か？

- 経済とは何かを理解するために、生産・分配・消費の流れを理解しよう
- 経済活動における3つの市場（財・サービス市場、労働市場、資本市場）を理解しよう
- 経済学とは何かを理解するために、経済学の歴史を整理しよう

経済とは何か？

Q1：今朝何かに「お金」を使いましたか？

経済とは？

- 国語辞典（デジタル大辞泉）によれば･･･

1. ㋐人間の生活に必要な財貨・サービスを生産・分配・消費する活動。また、それらを通じて形成される社会関係。
㋑金銭のやりくり。
㋒費用や手間のかからないこと。倹約。
2. 《「経国済民」「経世済民」の略》国を治め民を救済すること。政治。

→本科目では、1㋐の意味で経済を考えていく

経済とは？

「経済」（もしくは経済活動）
＝財やサービスを生産・分配・消費する社会活動

- 財：食料品や衣類、機械・工業製品などの「形があるもの」
- サービス：医療や通信などのように「形がないもの」

ペットボトルのお茶を買う、電車に乗る時にPASMOで運賃を支払うなどは、まさに「経済活動」

経済活動を形成する生産・分配・消費

生産 → 分配 → 消費

<u>生産の三要素</u>

- 土地：生産のために使われる土地や資源
- 資本：生産のために使われる生産設備（機械など）
- 労働力：生産のために必要な人々の労働

経済活動を形成する生産･分配･消費

生産 → 分配 → 消費

<u>誰にどれだけ分配するのか</u>

→生産活動に貢献した経済主体に所得として分配

- 労働を提供した人→賃金
- 土地や資本(資金)を提供した人→地代･利子･配当など

経済活動を形成する生産・分配・消費

生産 → 分配 → 消費

<u>分配から消費活動へ</u>

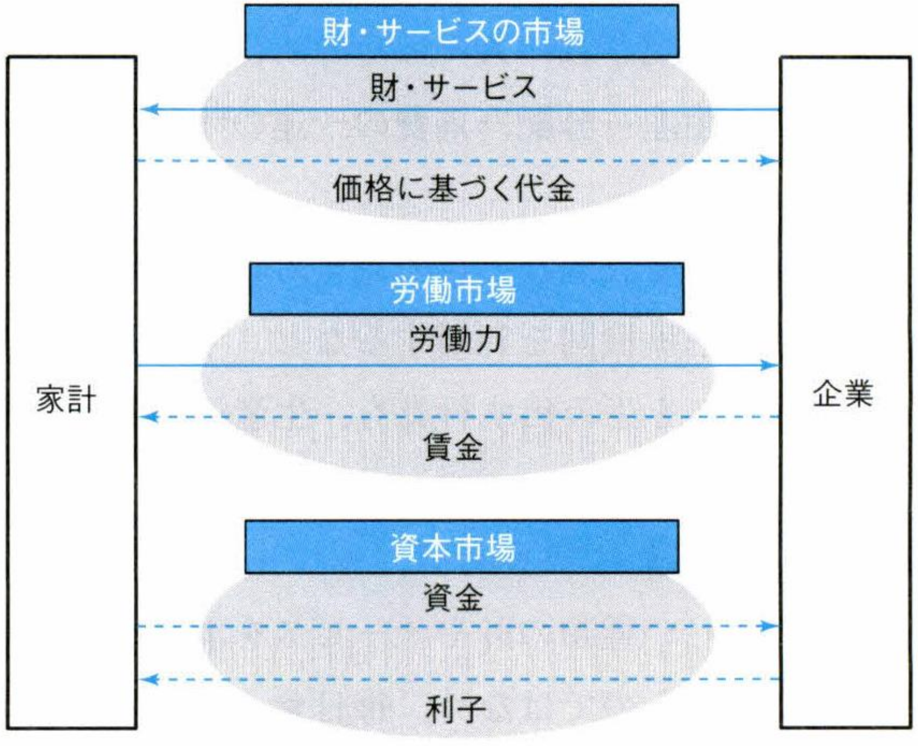
- 人々は、生産活動の成果として得られた所得をもとに、支出して生産物を消費する
- その後、再び生産を行う

重要な3つの市場

1. 財・サービス市場
- 家計が買い手となって、売り手である企業から財やサービスを買い、対価として代金を支払う

2. 労働市場
- 企業は財やサービスを生産するために、家計が提供する労働を買って（＝雇って）、財やサービスの生産活動を行う

3. 資本市場
- 家計の余剰資金（貯蓄）を企業へ貸し付け、企業がその対価として利子を支払う（金融取引）



経済学とは何か？

Ｑ２：経済学とは何でしょうか？

経済学とは？

実際の経済学

近代経済学＝一般的によく言われる経済学

学派

ケインズ経済学
新古典派経済学
マネタリズム　・・・

分野

ミクロ経済学
と
マクロ経済学

古典派経済学

マルクス経済学

制度派経済学

・・・

→経済学は、経営学や数学、政治学、法学、国際関係論などとも密接に関わる学問

経済学の歴史

経済学者名	主要な著書	学派
アダム・スミス	**『諸国民の富（国富論）』**	古典派
デイヴィッド・リカードウ	**『経済学及び課税の原理』**	
トマス・ロバート・マルサス	『人口論』	
カール・マルクス	**『資本論』**	マルクス経済学
アルフレッド・マーシャル	『経済学の原理』	近代経済学
ジョン・メイナード・ケインズ	**『雇用・利子及び貨幣の一般理論』**	
ヨゼフ・シュンペーター	**『経済学の発展』**	
ミルトン・フリードマン	**『貨幣の安定を目指して』**	
ソースティン・ヴェブレン	『有閑階級の理論』	制度派経済学
ジョン・ケネス・ガルブレイス	『ゆたかな社会』	

経済学の歴史

学派	主な主張
古典派経済学	• 自由貿易の立場から重商主義を批判し、財の価格決定においては供給側を重視した • また、財の価値はその生産に費やされた労働量と等しいとする貨幣数量説を説いた • アダム・スミス「見えざる手」、リカードウ「比較生産費」
マルクス経済学	• 資本主義経済の下では、労働者は賃金以上の価値（剰余価値）を生み出すが、剰余価値は資本家の手に渡り、労働者は搾取されると説いた
ケインズ経済学	• 不況期に大量失業が発生する原因は有効需要の不足によるものであり、政府はこれに対して有効需要を積極的に増やすべきだと説いた
新古典派経済学	• 商品の価値は、限界効用（人々が財を1つ購入したことで得られる満足感）によって決まると説いた
マネタリスト	• ケインズ経済学の政府による裁量的な財政・金融政策を批判し、制限のない自由経済を理想とした • 政府の役割は貨幣供給量を一定量（k%）増加させるだけでよいとした（貨幣数量説）
制度派経済学	• 主流派経済学で見落とされていた歴史や社会、制度の重要性を説いた

本日の授業のまとめ

- 経済とは財やサービスを生産・分配・消費する社会活動である
- 生産の三要素は、土地、資本、労働力である
- 経済活動における市場には、①財・サービス市場、②労働市場、③金融市場がある
- 経済学はアダム・スミスの登場以降拡大してきたが、近代経済学（ケインズ経済学、新古典派経済学）を中心に様々な学派が存在している